

## 淀川河川公園 大塚地区 公園整備計画（修正案）

# ■ 1. 大塚地区の現況

## 年間利用者数と主な公園施設

年間利用者	年間利用者数 202,905人
	野球場 20,563人 テニスコート 3,278人 多目的球技場 17,134人 陸上競技場 0人 ゲートボール場 161人 ※運動施設は内数 (平成22年度)
主な公園施設	野球場2面、テニスコート4面、多目的球技場1面、陸上競技場1面、ゲートボール場4面、炊飯施設、芝生広場、駐車場193台、トイレ7ヶ所、管理所1ヶ所

## 各視点からの現況

	ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善
現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の供用区域は、「水辺環境保全・再生ゾーン」と「多目的利用ゾーン」の2つのゾーンで構成されている。</li> <li>運動施設の一部は、「水辺環境保全・再生ゾーン」内となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上流部を中心に、運動施設が多数整備されており、年間約43,000人に利用されている。</li> <li>自然環境・歴史文化に関わるような整備は行われていない。</li> <li>下流部（枚方大橋付近）に緊急船着場が整備されており、イベント時に使用されている。</li> <li>バーベキューエリアが指定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全長約2.0kmと比較的縦長の地区となっているが、何力所かに分散して合計7基のトイレが設置されている。</li> <li>シェルターが数基設置されているが、面積に比して日陰は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急用河川敷道路および園路により上下流方向への移動は容易。</li> <li>堤防部は、兼用道路となっており、歩道は下流部の一部区間のみ。</li> <li>近傍に鉄道駅は無く、枚方大橋のもとにバス停が設置されている。</li> <li>駐車場が上流部1箇所に整備されている。</li> </ul>



## ■ 2. 大塚地区の整備方針

淀川河川公園基本計画に基づき、地区特性を踏まえ、大塚地区の整備方針を以下のように設定します。

### 淀川河川公園の整備方針（基本計画）

#### （1）ゾーニング計画を新たに定める

- 基本計画における地区区分計画を改め、淀川の自然環境が縦断及び横断方向に連続するようなゾーニング計画を新たに定める

#### （2）淀川の自然環境の保全・再生を図る

- 自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観を保全・再生する
- 干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまり等の水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場を保全・再生する

#### （3）淀川らしい利用ができるようにする

##### ①淀川の自然環境と利用との調和を図る

社会動向の変化、周辺の都市の状況、地域住民・利用者のニーズや意見を踏まえ、地区ごとの特性を考慮しながら淀川の自然環境と利用との調和を図る

##### ②淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

地区ごとの特性を活かし、水辺での水遊びや自然観察、原っぱでの遊びや運動、休憩、散歩など様々な形で淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

##### ③淀川全体をつなぐ・まちと淀川をつなぐ

散策やジョギング、サイクリングなどが行えるよう、淀川全体をつなぐとともに、周辺地域と淀川にまつわる歴史・文化資源の散策・周遊等のルート設定や、広域避難地としての役割など、まちと淀川をつなぐ取り組みを行う

##### ④淀川の水辺の景観を楽しめる場をつくる

水辺越しに見える都心部の眺望景観、北摂連山や天王山、男山、生駒山地などの山なみと一体的な景観との調和を図り、水辺の景観を楽しめる場をつくる

#### （4）淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

- 渡しや舟運、旧毛馬閘門・洗堰や川港跡、樋跡、三川合流部などの保存や展示、言い伝えを後世に伝えるなど、淀川にまつわる歴史・文化の資源を活かす

### 大塚地区の特性

- ワンドの名残りが存在し、独特の景観を有する
- 約 1.6km に及ぶ細長い地区であり、運動施設は上流側に集中している
- 高水敷の地盤高と水面との高低差が大きく、親水性はほとんどない
- 堤防道路は兼用道路となっており、交通量が多い

### 大塚地区の整備方針

#### ◇高水敷の切り下げにより、河川本来の自然環境の再生を図ります

- 高水敷の切り下げを行い、水陸移行帯を再生することにより、本来の河川敷の自然環境を再生します

#### ◇人々が気軽に多目的なレクリエーションを楽しめる場の提供をめざします

- 陸上トラック・ゲートボールなどの単一目的の運動施設から、運動、遊び、イベント、散策など利用者の創意工夫で多目的に利用できる広場づくりを進めます

#### ◇淀川全体をつなぎ、川とともにある暮らしが感じられる環境づくりをめざします

- 平常時の緊急用船着き場を活用しやすくすることにより、舟運等の水面利用の促進を図ります
- 周辺地域からの安全にアクセスでき、安心して公園利用ができるような環境づくりを行います

#### ◇特徴のある景観を活かして水辺の景観を楽しめる場づくりをめざします

- ワンドの名残りの景観と高水敷の切り下げ部を活用し、水辺に親しみ、景観楽しむ場を提供します

### 3. 大塚地区公園整備計画（修正案）



※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載しています。

整備項目（黒）：原案の項目、 整備項目（赤）：地域協議会、地区会議の意見に基づく項目

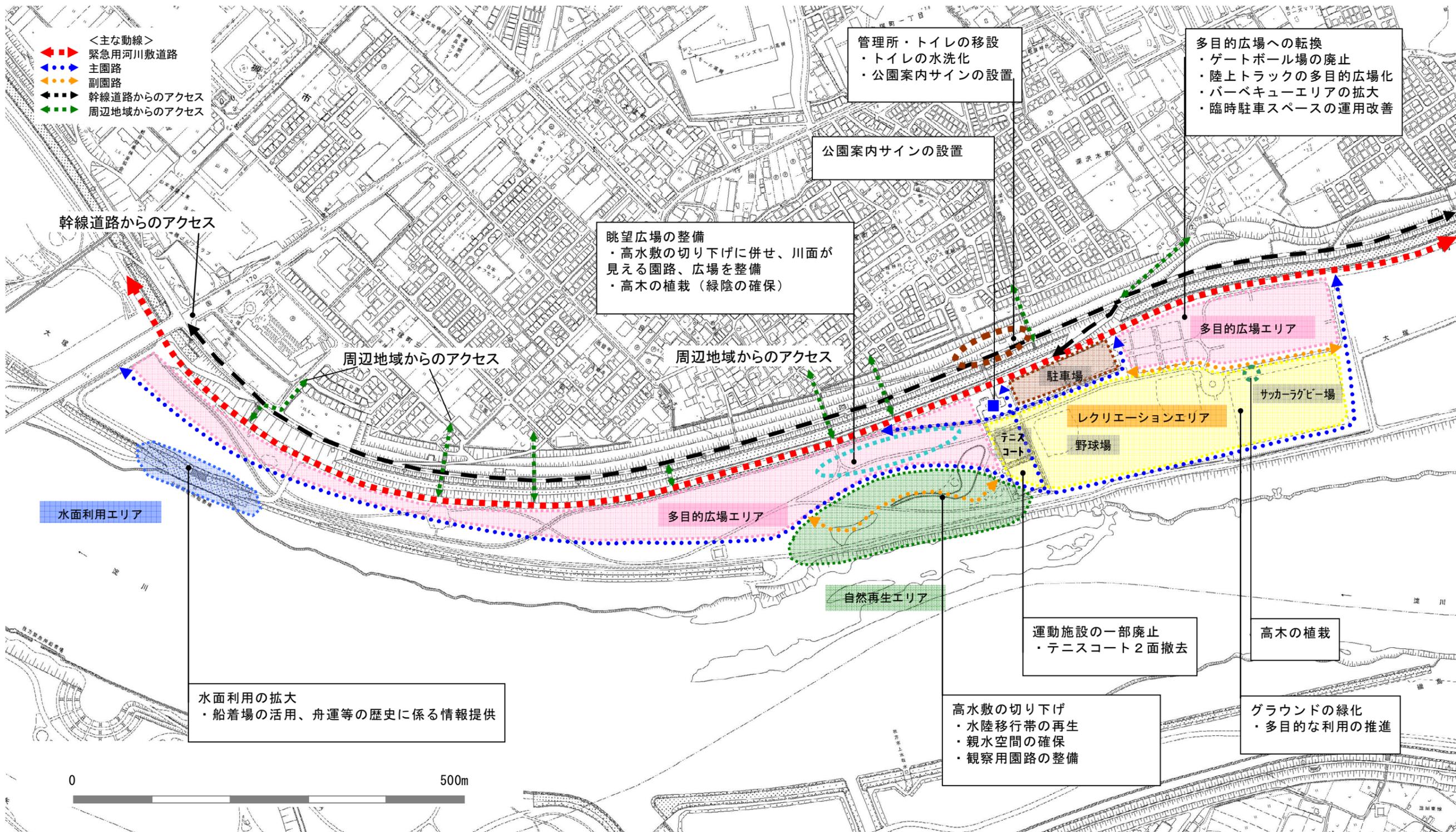
#### ■ 4. 大塚地区の整備内容（案）

	整備項目	該当項目	整備内容
1	高水敷の切り下げ	【ゾーニング計画の実現】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大塚地区の水制工の跡地については、自然環境の再生と親水空間の創出を図るため、水際の切り下げを実施する。</li> <li>・水陸移行帯の自然環境を観察するための園路を整備する。</li> </ul>
2	運動施設の一部廃止	【ゾーニング計画の実現】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、老朽化のため使用中止のテニスコート2面について、高水敷の切り下げ対象範囲に該当しているため、廃止する。</li> </ul>
3	グラウンドの緑化	【ゾーニング計画の実現】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川側の一部区域が水辺環境保全・再生ゾーンと重複しているため、グラウンドの緑化を図る。</li> </ul>
4	多目的広場への転換	【ゾーニング計画の実現】 ・【魅力の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、利用者の減少しているゲートボール場について、隣接する陸上競技場と一体的に多目的広場への転換を図る。</li> <li>・バーベキュー利用者の増加に対し、エリアの拡大を図る。</li> <li>・臨時駐車スペースの運用改善を行う。</li> </ul>
5	眺望広場の整備	【魅力の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高水敷の切り下げに伴い、川への眺望が確保されることから、休憩場所・園路を整備する。</li> <li>・高木を植栽し、緑陰を確保する。</li> </ul>
6	水面利用の拡大	【魅力の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船着場の活用、舟運等の歴史に係る情報提供を行い、水面利用の拡大を図る。</li> </ul>
7	管理所・トイレの移設	【快適性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理所を堤防上に移設することで視界を上げ、管理効率の向上を図る。</li> <li>・堤防上にトイレを移設し、水洗化を図る。</li> </ul>
8	公園案内サインの設置	【快適性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内の各種看板類を集約し、駐車場付近に公園施設の配置や利用ルール等を示した総合案内サインを設置する。</li> </ul>
9	高木の植栽	【快適性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木を植栽し、緑陰を確保する。</li> </ul>

整備項目（黒）：原案の項目、 整備項目（赤）：地域協議会、地区会議の意見に基づく項目

※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載しています。  
 ※地域協議会での議論、治水・環境の観点からの技術的検討、予算状況等により変更となることがあります。

■ 5. 大塚地区公園整備計画図（案）



※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載しています。  
 ※地域協議会での議論、治水・環境の観点からの技術的検討、予算状況等により変更となることがあります。

■ 6. 大塚地区の公園整備イメージ

